

平成 24 年度 第 14 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 25 年 3 月 27 日（水）10:23～10:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1：民間活力の導入に関するガイドラインについて

【田中総務課長】（資料 1 に基づき説明）

本県では「外部委託に係るガイドライン」を策定し、事務事業の外部委託化を進め、民間活力の導入を図ってきたが、PFI や指定管理者制度など、民間事業者等の優れた技術やノウハウを活用する方式の多様化により、どの手法を的確に選択するかが重要となっている。

本ガイドラインは、「みえ成果向上サイクル」の主要ツールである「オールインワンシステム」において、事務事業の改善等を行うための 1 つの判断基準として策定しており、県が関与すべき事務事業のうち、県が直接実施すべきものを除いた事務事業について、民間活力の導入が可能か検討するものである。

（特に質疑等なし）

議題 2：三重県外郭団体等改革方針について

【森行財政改革推進課長】（資料 2 に基づき説明）

改革方針（案）については 2 月 26 日の当本部員会議に諮り、2 月 27 日の県議会全員協議会で全体説明の後、3 月 14 日から各常任委員会において個別団体について説明、議論していただいた。

議会の議論等を踏まえ、9 頁の「①県の主要出資法人に係る経営状況等の審査及び評価」に、（県の出資等の割合が 4 分の 1 未満で県が筆頭出資者である団体への評価の実施要請について）従前からの説明どおりであるが「当該団体及び出資者と十分な調整をはかりながら、」とあらためて明記することをもって、本方針を確定したい。

（特に質疑等なし）

【鈴木知事】

外郭団体等改革方針について、議会でも議論があったが、この方針をまとめるまでに各団体とよく調整していただいたと思うが、いくつかの団体において、調整過程と少し違うということがあるので、再度よく団体と話をさせていただきたいのと、一部の団体において、前向きに変えていこうという思いが関係者に伝わっていないケースなどがあるので、担当部局と団体とで、市町含め関係者とよくコミュニケーションをとっていただきたい。